
第31回全国公民館セミナー開催

要項

1. テーマ

「新しい時代の公民館戦略を考える」

2. 定員：100人

3. 会期：令和2年1月29日（水）～31日（金）

4. 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

5. 主催：公益社団法人 全国公民館連合会

6. 後援：

社会教育団体振興協議会、全国公民館振興市町村長連盟、

ESD 活動支援センター

7. この研修の目的

今回のセミナーでは、これからの公民館像を探るため、これからの公民館はどうあるべきかを検討します。

昨年11月に実施された東京大会では「公民館とは何か」という議論をおこないました。そのうえで、今後は新しい公民館のあり方を探っていくことが必要となっていきます。これからの公民館はどうあったら良いのかを、皆さんと一緒に考えます。

8. プログラム

※プログラム内容は、予告なく変更することがあります。最新情報は、全国公民館連合会のホームページをご確認ください。

1日目

全体MC：バーゲンセール（お笑い芸人）

（1）先進事例に学ぶこれからの公民館運営（13：15～16：30）

※何度か休憩が入ります

全国でもユニークで先進的な事例を行っている公民館に、これからの公民館を示唆する事例を発表していただきます。

コーディネーター：田中雅文氏（日本女子大学教授）

ゲスト：

前田学浩氏（南国市稲生公民館顧問）

宮城 潤氏（那覇市若狭公民館館長）

（2）文部科学省の公民館をめぐる動き（16：45～17：15）

水田 功氏（文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課長）

（3）オリエンテーション（17：15～17：30）

（4）情報交換会（18：30～20：30）

2日目

（1）お笑い芸人に学ぶコミュニケーション術（9：00～9：30）

バーゲンセール（お笑い芸人）

公民館でまず求められるもの。それは、住民とのコミュニケーションがうまくできることではないでしょうか。お笑い芸人さんがどんなことに気をつけてコミュニケーションをしているのか、お話を伺います。

(2) ワークショップ (9:45~17:00) ※休憩が入ります。

「新しい時代の公民館広報戦略」

山田 義郎氏 (マルチメディアプロモーションサービス)

これからの時代の広報は、公民館は公民館報 (公民館だより) だけではなく、Facebook や Twitter をはじめとした SNS、また YouTube などの動画サービスなどを積極的に活用していくことが求められます。ワークショップの実技などを通して、これからの広報のあり方や可能性についてみんなで考えます。

特別企画

お笑いライブ! 【参加自由】 (18:30~20:00)

お笑い芸人さんのプチお笑いライブと懇親会で、東京の夜をお楽しみください。

3日目

(1) 特別講義 (9:00~9:30)

「東京オリンピック・パラリンピックにむけて」

八木和広氏 (東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツ局次長、元文部科学省社会教育課長)

2020年に実施される東京オリンピック・パラリンピックについて、2018年9月まで文科省で社会教育課長を務めていた八木さんに、公民館とのかかわりなども踏まえてお話いただきます。

(2) 集中講義 (9:45~12:00) ※休憩が入ります。

「公民館を地域づくりの基盤に」

牧野篤氏 (東京大学教授)

70年経った公民館がこれからどうすべきなのか、現在の社会情勢や国の動き、また公民館の現状やその他の公民館的な活動状況を踏まえながら、考えます。

講師プロフィール

■前田学浩（まえだ みちひろ）

南国市立稲生ふれあい館顧問

1962年、高知県生まれ。日本IBM(株)に9年間勤務後、Uターン。デザイン・企画会社を経て、07年より、高知県南国市議会議員（前議長）。

04年4月、稲生ふれあい館の運営審議委員長に就任。05年に稲生小学校PTA会長に就任直後、PTAをPTCA組織に改組提案、翌年4月にPTCA設立。以来、公民館と小学校という学びの施設を核とした地域づくりを推進。08年5月、学校支援地域本部事業、13・14年8月公民館GP、14年6月高知県版の小さな拠点事業である集落活動センター、16年8月より、地域学校協働本部事業へと昇華。公民館を核とした地域運営組織の活動が充実していくにつれ、年々、地区の国保医療費が下がり始めている。詳しくは当日！

■宮城 潤（みやぎ じゅん） NPO法人地域サポートわかさ理事・事務局長、那覇市若狭公民館館長

2006年社会教育指導員として那覇市若狭公民館に勤め、その翌年に非常勤館長、その後、一部業務受託団体事業責任者、指定管理者の館長と4回の職名変更を経ながら若狭公民館勤務14年目。その間、若狭公民館は、全国公民館ホームページコンクール、館報コンクール、インターネット活用コンクールにおいて、最優秀賞5回、優秀賞2回、優良賞1回受賞。第70回優良公民館表彰（2017年度）では「最優秀館」に選ばれる。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員。

■田中雅文（たなか まさふみ）

日本女子大学人間社会学部教育学科教授

和歌山県出身。博士（学術）。専門は生涯学習論、社会教育学。市民の学びとコミュニティづくり、まちづくり、ボランティア活動との関係に関心を持ち、調査・研究している。地域づくりと結びついた公民館や社会教育の新しい姿を実現させるのが夢。自らも、居住地域で雑木林の保全活動や市民活動のネットワークづくりに汗を流している。現在、東京都町村社会教育委員連絡協議会・会長。

■山田義郎（やまだよしろう）

映像クリエイター・広報アドバイザー

三重県四日市市出身。インターネットを活用した映像企画・制作を専門とし、地域の課題解決につながる映像企画を立ち上げに携わる。SNSを活用した広報セミナーを実施するなど、自ら情報発信を行う楽しさ、重要性などを伝える広報アドバイザーを各地でおこなう。映像クリエイターとしては、昨年イタリアやルクセンブルグなど5カ国を渡り、ドキュメンタリー映像を制作。また災害時におけるドローンの活用を推進する（一社）三重県ドローン協会の理事も務める。

■八木 和広 (やぎ かずひろ) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツ局次長)

平成6年4月文部科学省生涯学習政策局社会教育課、平成9年9月体育局学校健康教育課健康教育企画室企画・健康教育係長、平成13年7月スポーツ局生涯スポーツ課地域スポーツ振興専門官、平成15年7月生涯学習政策局男女共同参画学習課課長補佐、平成16年4月在オーストラリア大使館一等書記官、平成22年4月香川県教育委員会教育次長、平成28年4月スポーツ庁政策課学校体育室長、平成29年7月生涯学習政策局社会教育課長。平成30年10月から現職。

■牧野 篤 (まきの あつし) 東京大学大学院教育学研究科教授

愛知県生まれ。博士(教育学)。専門領域は、社会教育学・生涯学習論で、日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題に関心がある。最近では、自治体と一緒にになって公民館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニティの構築を進めたり、さらには企業と一緒に「ものづくりの社会化」プログラムなどを運営したりするなどの調査を進めている。現在、文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員。

■バーゲンセール (ばーげんせーる) お笑い芸人

ちょっぴり可愛い、わさびちゃんと正子(まさこ)のアラサーお笑いコンビ。元女優と元アイドルの異色の経歴を持つ。テレビやラジオ、ライブ、YouTubeなどで活躍中。

【最近の活動内容】日本テレビ「ものまねグランプリ」「ウチのガヤがすみません」、テレビ朝日「バクモン学園」、TBS「有田ジェネレーション」、TBSドラマ「Heaven?〜ご苦楽レストラン〜」など。

9. 参加資格 (1) 各都道府県公連から推薦を受けた者
(2) その他全国公民館連合会会長が認めた者

10. 参加費 無料

11. 参加方法

各都道府県公連から推薦をいただいた人のなかから、参加者を決定します。

※推薦書の締め切りは各都道府県公連ごとに異なりますが、全国公民館連合会へは必ず12月16日(月)までに通知をお願いいたします。

※全国公民館連合会直接の受付は、原則としておこなっておりません。

1 2. 参加にあたって

- (1) セミナー期間中の宿泊は、オリンピックセンター内に確保いたします（無料）。ご希望のかたは、参加者推薦書にてお申し込みください。ただし研修施設のため、一般のホテルのような設備やサービスはありませんので、ご了承ください。部屋はD棟になります。
※ なお、宿泊は必ずしもオリンピックセンターでなくてもかまいませんが、ご自身で宿泊を別にする場合、ホテルの斡旋や費用補助はございません。
- (2) 会場の詳細や概要、アクセス方法などは、国立オリンピック記念青少年総合センターホームページ (<http://nyc.niye.go.jp/>) でご案内しておりますので、ご確認ください。
- (3) 原則、全日程の参加をお願いします。
- (4) 何かご相談、ご不明な点がございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

1 4. 問い合わせ

公益社団法人全国公民館連合会 担当：村上 英己（むらかみ ひでき）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-8

TEL：03-3501-9666／FAX：03-3501-3481

E-mail：murakami@kominkan.or.jp